

ヤマネ

Glirulus japonicus (Schinz)

ネズミ目ヤマネ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

本県における分布情報が少なく、加賀地域山間部に分布に限られる。日本固有種。

形態

ネズミに似るが、背中には黒色の一本の線があるのが特徴。頭胴長68～84mm、尾長44～54mm、後足長16～17mm、体重14～20gぐらいだが、冬眠前に体重は増えると言われている。

国内分布

地中海沿岸からヨーロッパ、小アジアに分布するが、日本のヤマネ*Glirulus japonicus*は独立種。本州、四国、九州、隠岐島後に分布し、日本固有で一属一種。

県内分布

石川県の哺乳類(林 1999)では金沢市以北の白山地域で6メッシュの分布が認められていたが、その後、三原・野崎(2003)により5メッシュ増加した。また、1993年10月 白山市河内町旧奥池地域で目撃されていたことが判明し、合計12メッシュの分布地となった。白山市市原の標高230mで確認された場所以外はいずれも山地帯の600～1200mでの情報であった。

生態

山地帯から亜高山帯の主に落葉広葉樹林にすむ。夜行性で主に樹上で生活し、樹洞や時に巣箱を利用して樹皮やコケを利用した丸い巣をつくる。果実や種子を主に採食するが、昆虫類もよく食べる。晩秋の10月から11月に気温が10℃以下になると樹洞のなかや山小屋、旅館のフトンのなかで冬眠することがある。主に春に繁殖し、産仔数は3～5頭である。

生息地の条件

落葉広葉樹の多い森林を選好しているようである。

生存の危機

特にないが、落葉広葉樹林の保護・保全が必要。(A)

特記事項

文化財保護法による天然記念物。鳥獣保護法では非狩猟獣。哺乳類学会(1997)では危急種に指定。

参考文献

林哲 1999. ヤマネ 石川県の哺乳類. 石川県.
三原ゆかり・野崎英吉 2003. 石川県内におけるヤマネの生息状況. 石川県白山自然保護センター研究報告30. 31-35.



写真提供者: 石川県白山自然保護センター



県内の分布